タイトル	空き家が繋ぐ！地域資源の輪を創る　HUB a nice KoBo（工房）	所在地	瀬戸内町阿木名集落	構造	木造在来構造	建物階数	1 階建

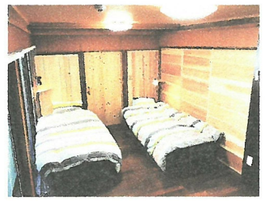
奄美大島
瀬戸内町　阿木名集落

チャレンジショップ兼コミュニテイ・レンタルスペース

飲食店のチャレンジ出店や地域食堂の開催、集落ミーティングなど様々な活用がされている。
（2018/10末オープン）

HUB a nice d！（ハブアナイスディ！）

民泊宿



島暮らしの体験や移住相談にもできる宿。（2019/8オープン）

HUB a nice INN (ハブアナイスイン)

HUB a nice KoBo(ハブアナイス工房)

地域への効果

瀬戸内町阿木名集落は、2019年春に奄美大島に配備された自衛隊の官舎が建設されたおかげで、人口減少ぎみだった集落に人が増え、活気が戻りつつあります。集落内に小中学校もあり、子どもから年配の方まで、多世代で地域行事を楽しみ、移住者にも優しい元気なまちです。山と海に囲まれ、川が流れる自然豊かな集落で、伊須湾から昇る朝日が絶景だったり、天然記念物のアマミノクロウサギも見られたり、観光客にも注目される集落になろうと、まちのみんなで様々な取り組みを行っています。

一方で、古い住宅や使われなくなった空き家は点在し始め、資源の有効活用ができていないのも現実です。空き家を利用したHUB a nice KoBo (工房)ができた場合、DIYのものづくりの楽しさを知ることだけでなく、多世代で繋がる子どもたちの学びの場になったり、空き家や廃材資源の利活用を考える場になります。既にオープンしている空き家を利活用したHUB a nice d!（チャレンジショップ兼コミュニテイスペース）や、HUB a nice INN（宿）と連携することで、地域で楽しくものづくりをしたり、島の素材を活かしたものが作れる観光施設として機能させ、島内外に島の魅力を発信できる場としても活用されることを期待します。